



作成日
改訂日

2017/04/12

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	硫酸ヒドロキシルアミン
製品コード	FI-B11-0007
供給者の会社名称	宇部興産株式会社
住所	東京都港区芝浦1丁目2番1号 シーバンスN館
担当部門	電池材料・ファイン事業部
電話番号	03-5419-6175
FAX番号	03-5419-6255

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

爆発物 区分外
可燃性固体 区分外
自己反応性化学品 タイプG
自然発火性固体 区分外
金属腐食性物質 区分1

健康有害性

急性毒性（経口） 区分4
急性毒性（経皮） 区分4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2A
皮膚感作性 区分1
発がん性 区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分1（血液）
特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分2（中枢神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分2（造血系）

環境有害性

水生環境有害性（急性） 区分1
上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険
H290 金属腐食のおそれ
H302 飲み込むと有害
H312 皮膚に接触すると有害
H315 皮膚刺激
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H319 強い眼刺激
H351 発がんのおそれの疑い
H370 血液の障害
H371 中枢神経系の障害のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による造血系の障害のおそれ
H400 水生生物に非常に強い毒性

注意書き 予防策

環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)

対応

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレン

ズを着用して容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313)

保管
廃棄
他の危険有害性

耐腐食性内張りのある耐腐食性容器で保管すること。(P406)

内容物/容器を国・地域のすべての法規に従い廃棄すること。(P501)

この物質は強い還元剤である。酸素に富む物質(酸化剤)と接触または混合するとき、非常に激しく反応する。爆発危険が発生する。アルカリ物質が存在するとき、比較的高い温度で遊離のヒドロキシルアミンが生成される。爆発的な分解が起こり得る。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学物質
化学名又は一般名 硫酸ヒドロキシルアンモニウム

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法番号	安衛法番号	
硫酸ヒドロキシルアミン	99%以上	(NH ₂ OH) ₂ ·H ₂ SO ₄	(1)-375, (1)-430	公表	10039-54-0

毒物及び劇物取締法 劇物(指定令第2条) ヒドロキシルアミン塩類及びこれを含有する製剤

4. 応急措置

吸入した場合 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

皮膚に付着した場合 皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。
医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合 水で15分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合 口をすすぐこと。
水に活性炭を懸濁した液を飲ませること。
意識がある場合は吐かせること。
医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤 棒状、霧状の水、泡消火剤、乾燥砂

使ってはならない消火剤 二酸化炭素、ハロゲン化物および粉末消火剤

特有の危険有害性 粉じん又は煙霧は空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。
熱、化学反応、摩擦、あるいは打撃により、自己分解や自然発火を引き起こすおそれがある。
火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法 燃焼生成ガスは、二酸化窒素、亜硫酸ガス。
容器を水噴霧で冷却し、できれば危険地域外に移す。
この物質は130℃以上の温度で爆発的反応を起こす傾向があることに注意する。容器爆発の危険がある。
消火活動は、有効に行える最も遠い距離から、無人ホース保持具やモニター付きノズルを用いて消火する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。
立ち入る前に、密閉された場所を換気する。

- 環境に対する注意事項
 - 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。
 - 環境中に放出してはならない。
 - 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
 - 防水シート等で覆いをして飛散拡大防止を図り、容器に回収する。
- 二次災害の防止策
 - 流出したこの物質が下水溝または船の排水管に入るときは、下水と腐食性の混合液が発生することに注意すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

有毒。腐食性。粉塵の吸入を避ける。

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。

取扱い後は、うがい、洗眼、手洗いを励行する。

長時間または反復の暴露を避けること。

鉄イオン等の混入を防止すること。

加熱の作業を行うときは、その温度を調整すること。

保管

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

容器を密閉して保管すること。

容器は直射日光や火気を避けること。

酸化剤から離して保管する。

適切な温度を超えない温度で保管すること。

安全な容器包装材料

クラフト紙袋、ポリ袋、フレキシブルコンテナ

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
硫酸ヒドロキシルアミン	未設定	未設定	未設定

設備対策

本製品を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

局所排気内、または全体換気設備のある場所で取扱う。

保護具

呼吸器の保護具

ばく露の可能性のあるときは、送気マスク、空気呼吸器、又は酸素呼吸器を着用する。

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡、ゴーグル

皮膚及び身体の保護具

保護服等

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

固体

形状

固体(結晶)

色

白色

臭い

無臭

臭いのしきい(閾)値

データなし

pH

3.7

融点・凝固点

120℃(分解)

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

データなし

蒸発速度

データなし

燃焼性(固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲

下限	データなし
上限	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重 (密度)	1.88 g/cm ³
溶解度	水: 32.9 g/100 mL (0°C), 水: 58.7 g/100 mL (20°C), 水: 68.5g/100 mL (90°C), アルコールに不溶, エーテルに不溶, 95%エタノールにほとんど不溶
n-オクタノール/水分配係数	LogPow=-3.6
自然発火温度	データなし
分解温度	120 °C
粘度 (粘性率)	データなし
動粘性率	データなし
その他	pH: 3.7 (0.1M 水溶液, 25 °C)

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	高温面や炎に触れると分解して、腐食性のフューム(イオウ酸化物)を生成する。水溶液は中程度の強酸である。
危険有害反応可能性	アルカリの存在下で加熱するとヒドロキシルアミンが遊離して爆発的に分解する。強力な還元剤で、酸化剤、金属粉末、硝酸塩、亜硝酸塩、重金属塩と激しく反応する。
避けるべき条件	高温面、炎。
混触危険物質	酸素に富む物質 (酸化剤)、酸化剤、金属粉末、硝酸塩、亜硝酸塩、重金属塩
危険有害な分解生成物	加熱分解し、有毒なSO _x とNO _x を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	
経口	ラットLD50=642 mg/kg (OECD 401)
経皮	ウサギLD50=1500-2000 mg/kg (OECD 402)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギ: 刺激性あり (OECD 404)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	Category 2, classified according to Regulation (EU) 1272/2008, Annex VI (Table 3.1/3.2)
呼吸器感受性又は皮膚感受性	モルモット: 皮膚感受性あり (OECD 406)
生殖細胞変異原性	染色体異常試験 (ショウジョウバエ) : 陽性 in vivo経世代変異原性試験: 陰性 生殖細胞in vivo変異原性試験: 陰性 小核試験: 陰性 Ames試験: 陰性 マウスリンフォーマアッセイ: 陽性
発がん性	Category 2, classified according to Regulation (EU) 1272/2008, Annex VI (Table 3.1/3.2)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	100および500mg/kgのウサギへの経皮投与試験でチアノーゼ、赤血球の減少などが認められている。 370mg/kgのラットへの経口投与でチアノーゼ、無関心、緊張減退、麻痺が認められている。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	ラット28日間反復投与試験において、36mg/kg/dayの投与で溶血性貧血が認められ、ウサギの3週間の経皮試験でも、1.47mg/kgで貧血が観察されている (IUCLID (2000))。 Category 2, classified according to Regulation (EU) 1272/2008, Annex VI (Table 3.1/3.2)

12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性) 魚毒性: 96h-LC50=7.2 mg/l (Pimephales promelas)
 ミジンコ遊泳阻害: 48h-EC50=1.62 mg/l (Daphnia magna)
 藻類成長阻害: 72h-EC50=0.72 mg/l (Desmodesmus subspicatus)

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 毒物及び劇物の廃棄方法に関する基準を考慮して行なうこと。
 燃えやすい溶剤に溶かすか、混合物にして、アフターバーナーとスクラ
 ーが設置されている焼却炉で焼却する。
 汚染容器及び包装 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

1 4. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報 I M Oの規定に従う。
 UN No. 2865
 Proper Shipping Name HYDROXYLAMINE SULPHATE
 Class 8
 Packing Group III
 Marine Pollutant Applicable
 Transport in bulk Not applicable
 according to MARPOL
 73/78, Annex II, and the
 IBC code
 航空規制情報 I C A O / I A T Aの規定に従う。
 UN No. 2865
 Proper Shipping Name HYDROXYLAMINE SULPHATE
 Class 8
 Packing Group III

国内規制

陸上規制 消防法および毒劇法の規定に従う。
 道路法に則り輸送を行なう。
 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。
 国連番号 2865
 品名 硫酸ヒドロキシルアミン
 国連分類 8
 容器等級 III
 海洋汚染物質 該当
 MARPOL 73/78 附属書II 及
 びIBC コードによるばら積
 み輸送される液体物質 非該当
 航空規制情報 航空法の規定に従う。
 国連番号 2865
 品名 硫酸ヒドロキシルアミン
 国連分類 8
 等級 III
 特別の安全対策 転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
 行なう。
 緊急時応急措置指針番号 154

1 5. 適用法令

化審法 優先評価化学物質 (法第2条第5項)
 毒物及び劇物取締法 劇物 (指定令第2条)
 消防法 第5類 第二種自己反応性物質
 外国為替及び外国貿易法 輸出貿易管理令別表第1の16の項
 船舶安全法 腐食性物質 (危規則第3条危険物告示別表第1)
 航空法 腐食性物質 (施行規則第194条危険物告示別表第1)
 港則法 その他の危険物・腐食性物質 (法第21条第2項、規則第12条、危険

道路法	物の種類を定める告示別表) 車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・ 債務返済機構公示第12号・別表第2)
化学物質管理促進法 労働安全衛生法	該当しない 第57条の2名称等を通知すべき有害物に該当しない

16. その他の情報

連絡先	宇部ケミカル工場 化成品品質保証グループ 電話番号: 0836-31-2085 FAX番号: 0836-31-3165 毒物劇物取締法による登録住所: 山口県宇部市大字小串1978-96
記載内容の取扱い	記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データや評価に関しては、いかなる保証もなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。